

令和8年度

ふるさと納税 事業所説明会

明和町役場 まちづくり戦略課

☰ 本日のご説明内容（アジェンダ）



1. 制度改正について

「寄附金活用可能額」の導入と6割基準、経費割合の段階的引き下げスケジュール等について解説いたします。



2. 契約手続きについて

産地偽装等のリスクを未然に防ぐため、本町と事業者様との直接契約締結に関する重要なお知らせです。



3. 新しい取組について

地域の魅力をさらに高める新たなフェーズ「ふるさと納税3.0」に向けた、共創型の仕組みをご紹介します。



明和町へのふるさと納税 寄附実績

令和6年度 実績

約13億8千万円

令和7年度 実績

約10億6千万円

皆様の魅力的な返礼品のおかげです

事業者の皆様の多大なるご尽力により、毎年多額の寄附金を確保することができております。
町を代表して心より御礼申し上げます。

※ 寄附金の活用実績（令和6年度の主な充当事業）

皆様の返礼品が、明和町の豊かな未来をつくる様々な事業に直結しています。



子育て・教育

- 小学校区編制等事業（学校建設等）
- 保育所・こども園の給食費高騰対策
- 放課後児童クラブの運営
- 小中学校の備品・図書購入



健康・福祉

- がん検診・予防接種費用の助成
- 高齢者の緊急通報システム整備
- 障がい者福祉施設等への支援
- 福祉医療費の助成事業



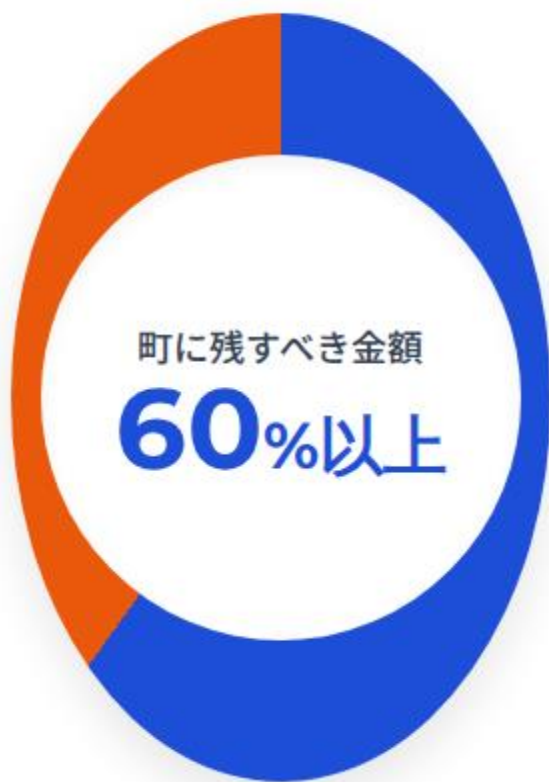
暮らし・まちづくり

- 町民バス・デマンドバスの運行
- 斎宮跡の保存活用・観光振興
- 防災対策（備蓄食糧・避難所整備）
- 防犯灯設置・維持等の安全対策

① ふるさと納税制度の改正について

経費上限の厳格化と、地域振興への活用を促進する新基準

新基準「寄附金活用可能額」の導入（6割基準）



■ 寄附金活用可能額（60%以上）

寄附金の合計額から、すべての募集費用を差し引いた残額。これが必ず寄附額の6割以上である必要があります。

■ 募集費用・経費（40%以下）

返礼品代、送料、広報費、決済・サイト利用料等の合計。現在の50%以下から、最終的に**40%以下**に厳格化されます。

📅 段階的な適用スケジュール（経過措置）

急激な経費削減による混乱を避けるため、1年ごとに段階的に基準が引き上げられます。

適用期間	活用可能額（町に残す額）	経費割合の上限
令和8年10月1日～令和9年9月30日	52.5% 以上	47.5% 以内
令和9年10月1日～令和10年9月30日	55.0% 以上	45.0% 以内
令和10年10月1日～令和11年9月30日	57.5% 以上	42.5% 以内
令和11年10月1日以降	60.0% 以上	40.0% 以内

⚠ その他の重要な改正ポイント



外部手数料の縮減

ポータルサイト等へ支払う区域外への流出費用は「できる限り縮減する」方針が明記。返礼品の品質維持と地域振興への活用が優先されます。



使途の公表義務化

寄附金がどのように町づくり（住民サービス等）に使われたかが公表が義務化。皆様の返礼品が地域にどう貢献したかが明確に可視化されます。



ペナルティの強化

基準違反時の指定取り消し期間が従来の「2年」から「**3年以内**」へ延長。また、過去の遡及チェック期間も「1年」から「**4年**」へと大幅に拡大されます。

事業者様へのご対応のお願い

- ✓ **コスト管理の再点検：**
将来的な「**経費率40%**」を見据え、返礼品の価格設定や梱包・発送コストの効率化の検討をお願いいたします。
- ✓ **地域貢献へのポジティブな変化：**
「6割を町に残す」ルールは、提供いただいた返礼品が、より直接的かつ強力で明和町の活性化につながるための前向きな改正です。
- ✓ **中長期的なスケジュールの共有：**
令和8年10月からの段階的変更となります。急な変更ではありませんが、計画的な対応へのご理解をお願いいたします。
- ✓ **必要書類のご提出について：**
制度改正に伴い、今後新たに提出をお願いする確認書類等が発生する見込みです。
何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

② 契約に関する重要なお知らせ

町と事業者様との直接契約

役場との契約の締結

制度改正や全国的な産地偽装等の問題を受け、
明和町のブランド保護と寄附者からの信頼性を
強固にするため、本町と事業者様との間で契約を
締結させていただきます。



ふるさと納税3.0について (ふるさと納税型クラウド ファンディング)

まちづくり戦略課

事前情報 . . .

これからお話するふるさと納税3.0（ふるさと納税型クラウドファンディング）の明和町での実施内容は現在調整中です。

事業の詳細や方針などは、これからの内部調整によって変わる可能性があります。

通常のふるさと納税とふるさと納税3.0

通常のふるさと納税

既存の商品やサービスを返礼品として登録する

【例】

- ・ 松阪牛
- ・ お米
- ・ あおさ、ひじき

ふるさと納税3.0

新たな返礼品の開発や新規事業所の誘致

【例】

- ・ 新規開発をした地ビール
- ・ 既存特産品の増産・改良
- ・ 工場の新規誘致を行った化粧品

ふるさと納税3.0のパターン

1. 町内に新たな拠点を設けるケース
2. 既存の事業者様による新商品の開発ケース
3. 既存の特産品の増産のために設備投資を行う

ふるさと納税3.0（ふるさと納税型クラウドファンディング）

【パターン1】

町内に新たな拠点を設けるケース

例えば、明和町にて**まだふるさと納税に算入していない事業者様（町内外）**が『明和町で返礼品を新たに展開したい』と考え、町内に加工場を新設しようとする場合です。

制度上は松阪市や伊勢市や県外の事業者においても算入できるように検討をしております。

ふるさと納税3.0（ふるさと納税型クラウドファンディング）

【パターン2】

既存の事業者様による新商品の開発ケース

例えば、既に返礼品を提供されている事業者様から、『明和町にて新しく地ビールを作りたい。新商品として開発を行うための設備投資をしたい。』

ふるさと納税3.0（ふるさと納税型クラウドファンディング）

【パターン3】

既存の特産品の増産のために設備投資を行う

例えば、**既に返礼品を提供されている事業者様**が、既存の特産品の増産を行うために設備を增強して投資を行う場合に、本制度の活用を検討できます

先行事例：大阪府泉佐野市

ふるさと納税型クラウドファンディング

<https://furusato-izumisano.jp/3/>



本場の韓国ごはん、泉佐野から「笑顔」をプロジェクト

心と身体が笑顔になる韓国料理を届けるために～日韓夫婦が【韓国料理工房づくり】に挑戦！～

2026年03月03日～2026年12月31日

あと254日

現在の寄附金額 **1,015,000円**

6%

目標金額 15,240,000円



CF6期「ヤッホーブルーイング大阪醸造所 よなよなビアライズ」創造プロジェクト

クラフトビールを楽しむエンターテインメント性を兼ね備えた体感型ブルワリーが2026年7月23日（木）ついに開業！

2026年04月01日～2027年03月31日

あと344日

現在の寄附金額 **24,622,000円**

8%

目標金額 300,000,000円



とろたん開発プロジェクト

タン先を高付加価値商品として生まれ変わらせる！

2025年12月05日～2026年12月31日

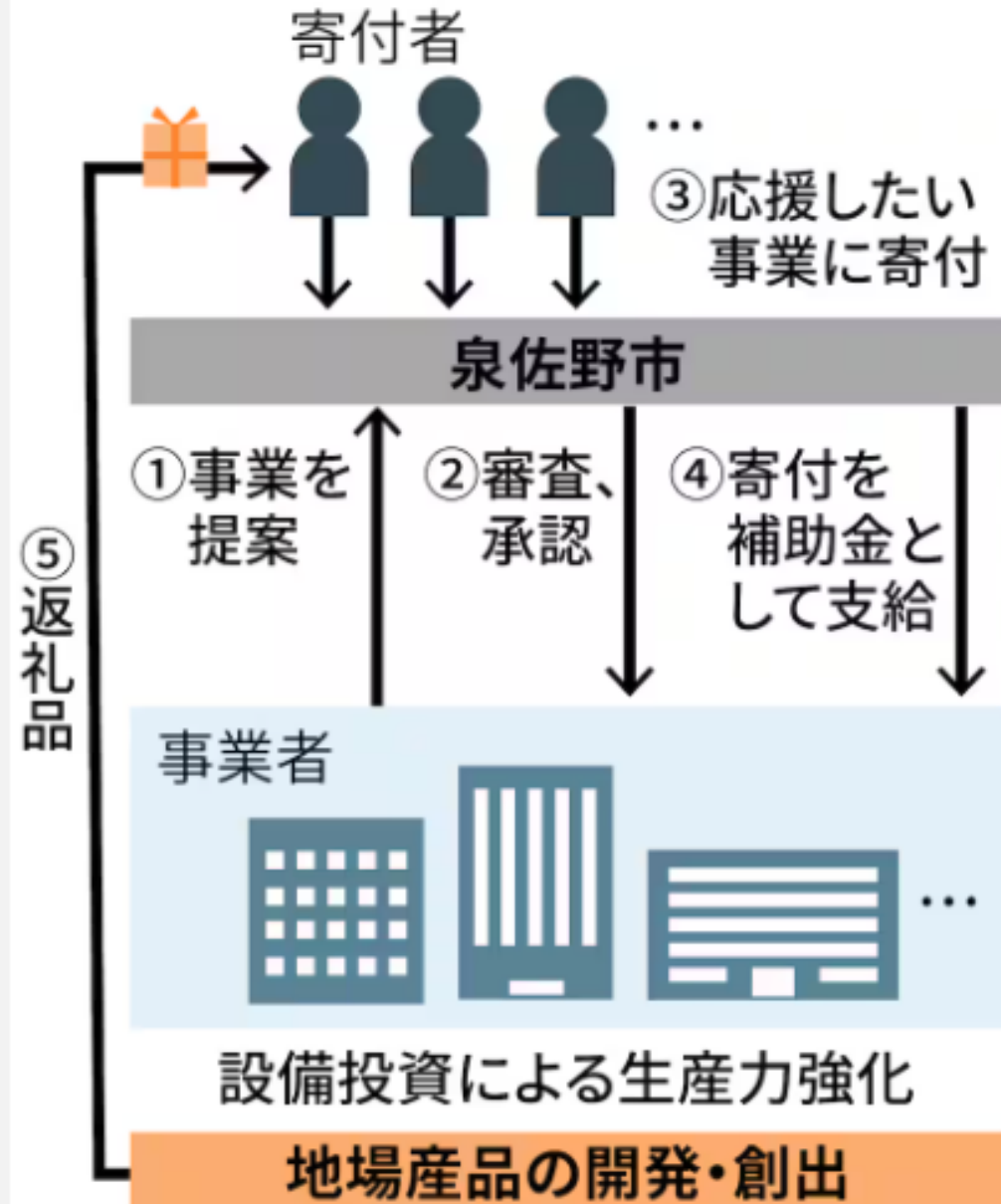
あと254日

現在の寄附金額 **139,274,000円**

23%

目標金額 587,500,000円

大阪府泉佐野市が運営する「#ふるさと納税3.0」のイメージ



ふるさと納税3.0の事業者の声

資金力に不安がある場合やニーズがあるかわからないものも返礼品とすることができる。

本日の資料に関しては
こちらからDLできます

